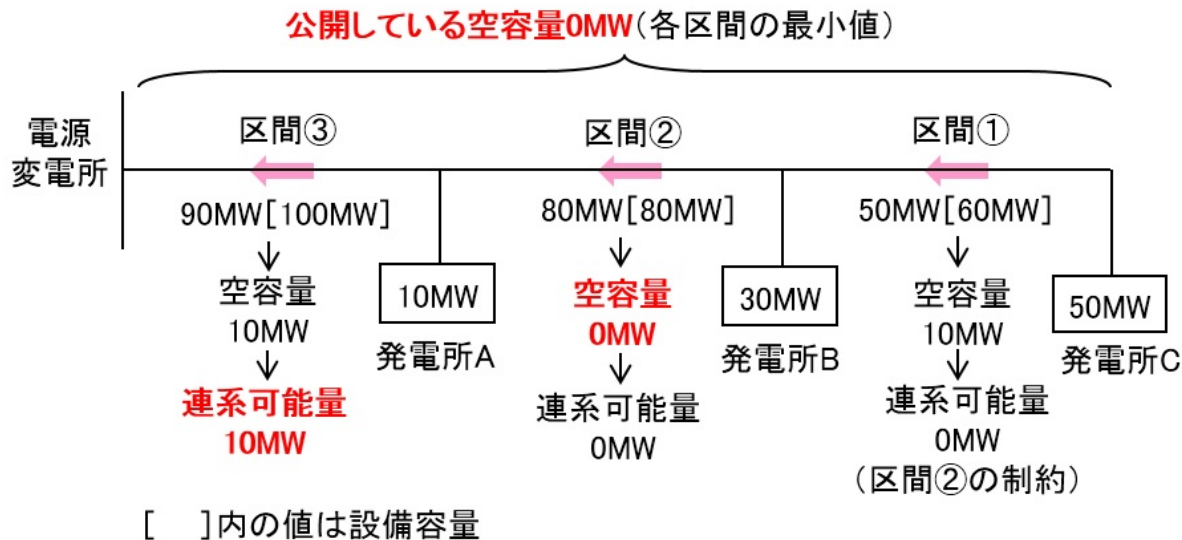


空容量マッピング利用上の留意点

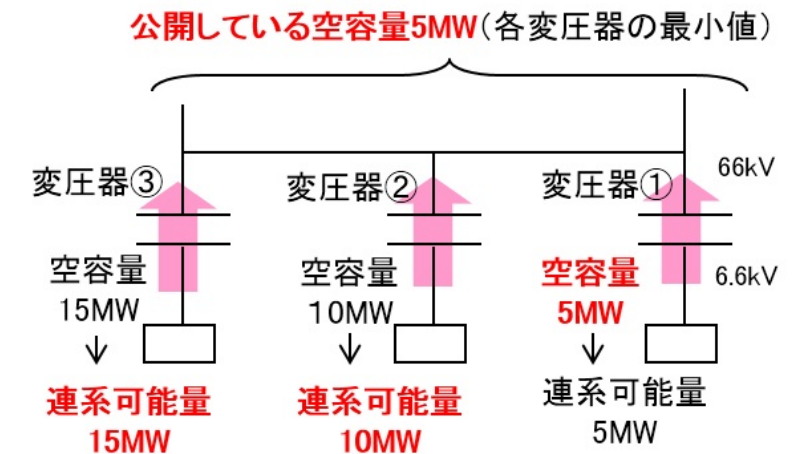
- 本資料は 2025年5月8日 時点における系統状況から作成しております。
- 空容量は目安※であるため、系統連系の前には、接続検討(要申込み)による詳細検討が必要となります。
- 原則として熱容量に基づく空容量を記載しておりますので、その他の要因(電圧や系統安定度など)により系統連系制約が生じる場合があります。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、受電電力が空容量の範囲内であっても、過去の増強工事費の一部を遡ってご負担いただく場合があります。
- 公表することにより、テロ等による社会的な大きな影響を受けることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報は公開しておりません。
- 個別の電力供給契約が特定可能な第三者情報は公開しておりません。

※公開している空容量と連系可能量が異なる例

例1) 送電線



例2) 配電用変電所



・送電線の場合は連系可能量0MWであっても、系統混雑時において発電設備等を出力制御していただくことを前提としたノンファーム型接続により、系統に連系が可能となります。

154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピングの記載方法について

○既にお申し込みを頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で系統の空容量を示しております。

※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

— 平常時出力制御 *1 が発生する可能性のある系統 *2

平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。

* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html

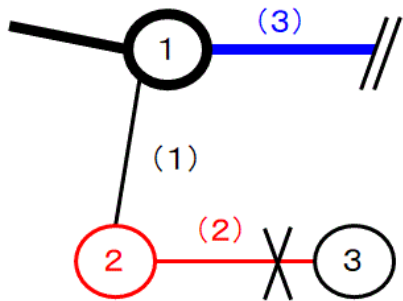
— 空き容量が無く、N-1電制が適用不可能であり、今後新規電源の申込によって平常時出力制御が発生する可能性のある系統 *3

— 平常時出力制御が発生する可能性が当面低い系統

*1 系統容量の制約による出力制御

*2 ノンファーム型接続が必要になる系統であっても、別途N-1電制が必要となる場合がある

*3 電源接続案件一括検討プロセスを実施中の系統、増強工事中の系統等を含む



①, ②, ③ : 変電所の設備番号

(1), (2), (3) : 送・配電線の設備番号

○「154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピング」は

特別高圧にて連系予定発電設備を対象としております。

空容量マッピング	対象発電設備
154kV	50,000kW以上にて連系予定の発電設備
66kV	10,000kW以上, 50,000kW未満にて連系予定の発電設備
22kV	2,000kW以上, 10,000kW未満にて連系予定の発電設備

【凡例: 154kVマップ】

変電所	154kV	○
開閉所	154kV	⊗
周波数変換設備		⬇
交直変換設備		⬆
送電線	154kV	—
発電所	154kV	□

【凡例: 66kVマップ】

変電所		○
送電線		—
常時開放箇所		// ×

【凡例: 22kVマップ】

変電所		○
配電線		—

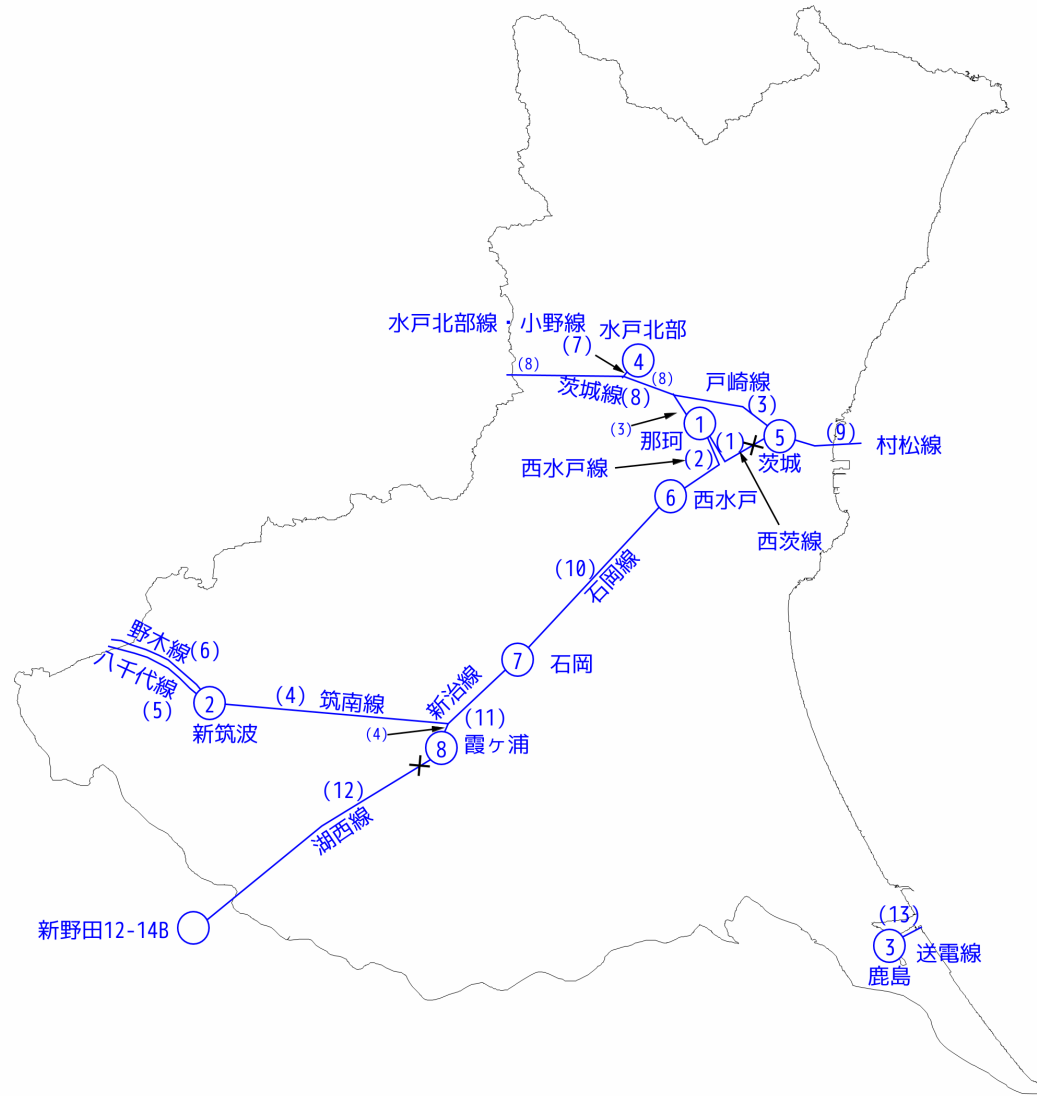
- ・セキュリティ等の理由により、系統の一部を記載していない都県がございます。
- ・破線で示した送電線・変電所は他社設備です。

送電線運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1回線送電線のため
 - #3 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量に変更となる場合があります。
- (5) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
 - * https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (8) 送電線名に発電所名、需要者名等が含まれている場合には、送電線名を「送電線」としております。
- (9) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。
- (10) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (11) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。
- (12) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
 - ※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～*」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
 - * <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>

変電所運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 - #3 配電用変電所のため
 - #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (5) 平常時出力制御の可能性のある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryoku.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (8) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。
- (9) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (10) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。
- (11) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～*」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
* <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>



茨城県

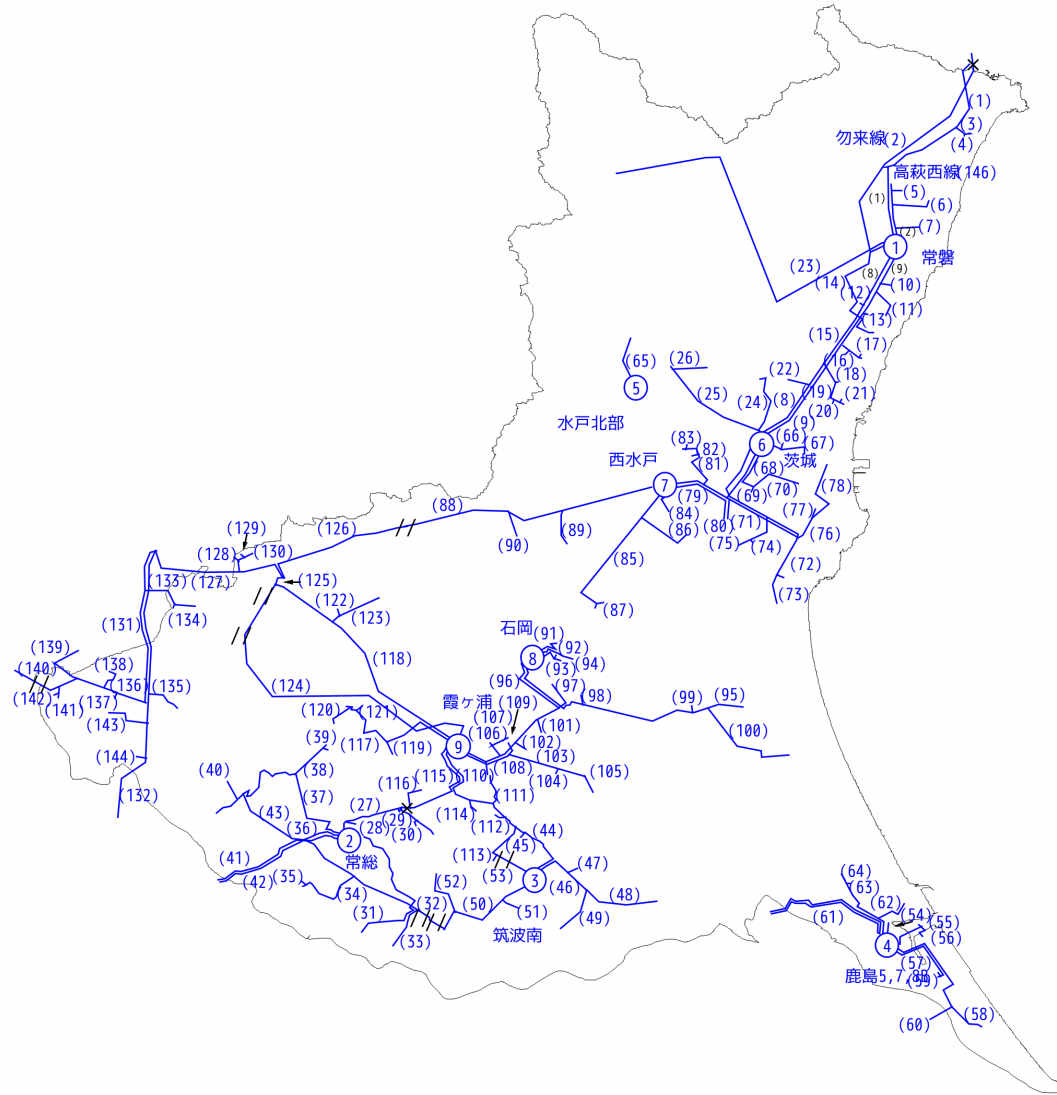
運用容量一覧表～154kVの特高設備～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%× 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
							当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
茨城県	154kV	1	西茨線	154	2	-	-	-	231	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	◇ 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	154kV	2	西水戸線	154	2	1974	1131	熱容量	53	0	可	843	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	154kV	3	戸崎線	154	2	986	565	熱容量	225	0	可	734	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	154kV	4	筑南線	154	2	1506	870	熱容量	192	0	可	218	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県	154kV	5	八千代線	154	2	1974	1131	熱容量	455	0	可	736	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県	154kV	6	野木線	154	2	1974	1131	熱容量	495	0	可	742	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県	154kV	7	水戸北部線・小野線	154	2	258	148	熱容量	0	0	可	31	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV8)による制約
茨城県	154kV	8	茨城線	154	2	228	131	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	154kV	9	村松線	154	2	308	172	熱容量	194	0	可	224	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV8)による制約
茨城県	154kV	10	石岡線	154	2	1974	1131	熱容量	1628	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	154kV	11	新治線	154	2	1078	591	熱容量	113	0	可	100	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県	154kV	12	湖西線	154	2	474	269	熱容量	244	0	可	224	有り	-	送47	※4 抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
茨城県	154kV	13	送電線	154	2	-	-	-	103	0	-	-	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約

茨城県

運用容量一覧表～154kVの特高設備～

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考			
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備				
茨城県	154kV	1	那珂	275	154	4	1701	1530	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	変2, 送11	※3※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(送11)による制約	
茨城県	154kV	2	新筑波	500	154	4	2825	2538	熱容量	557	0	可	287	有り	-	送52, 変4	※3※6 抑制が必要となる設備には変2 、送11含む 上位系(変4)による制約	
茨城県	154kV	3	鹿島	275	154	2	852	513	熱容量	342	0	可	339	有り	-	送46, 送39	※6 抑制が必要となる設備には送 47含む 上位系(送39)による制約	
茨城県	154kV	4	水戸北部	154	66	2	186	186	熱容量	137	0	不可	#2	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV7)による制約
茨城県	154kV	5	茨城	154	66	4	537	429	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※3※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(変茨城154kV1)による制約	
茨城県	154kV	6	西水戸	154	66	3	563	450	熱容量	91	0	可	113	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※2※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(変茨城154kV1)による制約	
茨城県	154kV	7	石岡	154	66	4	563	537	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※3※6 抑制が必要となる設備には変4 含む 上位系(変茨城154kV1)による制約	
茨城県	154kV	8	霞ヶ浦	154	66	4	557	444	熱容量	0	0	可	0	有り	-	送52, 変4	※3※6 抑制が必要となる設備には変2 、送11含む 上位系(変4)による制約	



茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考		
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備			
茨城県	66kV	1	北茨城線	66	2	158	89	熱容量	28	0	可	56	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	2	勿来線	66	2	66	66	熱容量	30	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	3	磯原線	66	2	106	69	熱容量	48	0	可	37	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	4	臼場線	66	2	106	69	熱容量	53	0	可	37	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	5	手綱線	66	2	102	57	熱容量	20	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	6	松久保線	66	2	102	67	熱容量	51	0	可	35	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	7	高萩線	66	2	102	57	熱容量	0	0	可	42	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	8	常磐線	66	2	444	254	熱容量	201	0	可	190	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	9	常北線	66	2	444	254	熱容量	181	0	可	190	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	10	小木津線	66	2	138	92	熱容量	64	0	可	46	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	11	送電線	66	2	-	-	-	69	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	12	送電線	66	2	66	37	熱容量	33	0	可	29	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	13	白銀線	66	2	150	85	熱容量	73	0	可	65	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	14	助川線	66	2	132	74	熱容量	66	0	可	13	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	15	北多賀線	66	2	294	167	熱容量	147	0	可	127	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	16	鮎川線	66	2	102	67	熱容量	51	0	可	35	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	17	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	18	多賀線	66	2	132	74	熱容量	66	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	19	大みか線	66	2	138	92	熱容量	68	0	可	46	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	20	送電線	66	2	-	-	-	53	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	21	送電線	66	2	-	-	-	151	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	◇ 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	22	真弓線	66	2	132	88	熱容量	45	0	可	44	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	23	大子線	66	2	51	51	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV1)による制約
茨城県	66kV	24	久慈線	66	2	302	172	熱容量	19	0	可	130	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV25)による制約

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備	
茨城県	66kV 25 常陸大宮線	66	2	190	118	熱容量	0	0	可	35	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV 26 送電線	66	2	92	92	熱容量	26	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV25)による制約
茨城県	66kV 27 小野川線	66	2	184	104	熱容量	70	0	可	80	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 28 送電線	66	2	184	104	熱容量	92	0	可	80	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 29 牛久北部線	66	2	102	57	熱容量	17	0	可	5	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 30 送電線	66	2	68	39	熱容量	34	0	可	29	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 31 取手線	66	2	132	74	熱容量	60	0	可	58	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 32 筑波南線(常総系)	66	2	294	167	熱容量	139	0	可	127	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 33 東取手線	66	2	132	74	熱容量	66	0	可	58	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 34 守谷線	66	2	122	70	熱容量	61	0	可	52	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 35 送電線	66	2	34	24	熱容量	17	0	可	10	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 36 谷和原線1, 2号	66	2	444	254	熱容量	198	0	可	11	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 37 岩井線	66	2	184	124	熱容量	6	0	可	60	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 38 筑波豊里線	66	2	120	71	熱容量	33	0	可	49	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 39 テクノパーク豊里線	66	2	102	67	熱容量	51	0	可	35	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 40 沓掛線	66	2	126	77	熱容量	26	0	可	49	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 41 水海道線	66	2	184	104	熱容量	92	0	可	38	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 42 出口線	66	2	196	107	熱容量	90	0	可	8	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 43 飯沼川線	66	2	102	67	熱容量	24	0	可	6	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県	66kV 44 稲敷線	66	2	444	254	熱容量	54	0	可	190	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	66kV 45 送電線	66	2	64	40	熱容量	32	0	可	24	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	66kV 46 江戸崎線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	43	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	66kV 47 送電線	66	2	-	-	-	36	0	-	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(送茨城66kV46)による制約
茨城県	66kV 48 幸田線	66	2	132	88	熱容量	18	0	可	44	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(送茨城66kV46)による制約

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備	
茨城県 66kV 49	角崎線	66	2	132	88	熱容量	30	0	可	44	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(送茨城66kV46)による制約
茨城県 66kV 50	筑波南線(筑波南系)	66	2	444	254	熱容量	67	0	可	163	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県 66kV 51	送電線	66	2	132	88	熱容量	66	0	可	44	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県 66kV 52	牛久線	66	2	102	57	熱容量	12	0	可	45	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県 66kV 53	桂町線	66	2	444	254	熱容量	222	0	可	190	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県 66kV 54	鹿島西部環線	66	2	95	95	熱容量	78	0	可	0	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約
茨城県 66kV 55	東深芝線	66	2	448	257	熱容量	109	0	可	158	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 56	奥野谷2号線	66	2	216	122	熱容量	48	0	可	94	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 57	波崎線	66	2	138	92	熱容量	0	0	可	21	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約
茨城県 66kV 58	土合線	66	2	236	160	熱容量	65	0	可	76	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 59	送電線	66	2	-	-	-	30	0	-	-	有り	-	送46, 送39	◇ 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送茨城66kV57)による制約
茨城県 66kV 60	松岸線	66	2	230	157	熱容量	93	0	可	73	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 61	湖南線1, 2, 3, 4号	66	4	368	372	熱容量	19	0	可	0	有り	-	送46, 送39	※3※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 62	平井線	66	2	118	67	熱容量	28	0	可	51	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 63	船津線	66	2	190	127	熱容量	1	0	可	63	有り	-	送46, 送39	※4 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 64	送電線	66	2	-	-	-	45	0	-	-	有り	-	送46, 送39	◇ 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県 66kV 65	山方線	66	2	290	161	熱容量	0	0	可	32	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送茨城154kV7)による制約
茨城県 66kV 66	孫目線	66	2	132	74	熱容量	21	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県 66kV 67	送電線	66	2	102	57	熱容量	31	0	可	1	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	◇ 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県 66kV 68	勝田線	66	2	372	212	熱容量	137	0	可	160	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県 66kV 69	青柳線	66	2	444	254	熱容量	149	0	可	190	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県 66kV 70	長砂線	66	2	124	73	熱容量	34	0	可	51	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県 66kV 71	湊線	66	2	102	57	熱容量	43	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県 66kV 72	大洗線	66	2	102	57	熱容量	24	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV6)による制約

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%× 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
							当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
茨城県	66kV	73	送電線	66	2	-	-	36	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約	
茨城県	66kV	74	常澄線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV	75	酒門東線	66	2	132	88	熱容量	37	0	可	44	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV74)による制約
茨城県	66kV	76	常陸海浜線	66	2	132	109	熱容量	66	0	可	23	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV	77	常陸那珂工団線	66	2	132	74	熱容量	61	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV	78	送電線	66	2	98	57	熱容量	49	0	可	41	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV	79	北見線	66	2	132	74	熱容量	66	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城154kV1)による制約
茨城県	66kV	80	水戸南町線	66	2	84	93	熱容量	42	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV	81	飯田線	66	2	184	104	熱容量	17	0	可	80	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV	82	送電線	66	1	60	34	熱容量	0	0	不可 #2	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※1 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV6)による制約
茨城県	66kV	83	送電線	66	2	106	60	熱容量	53	0	可	46	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV82)による制約
茨城県	66kV	84	赤塚線	66	2	66	66	熱容量	21	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	66kV	85	岩間線	66	2	132	74	熱容量	9	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	66kV	86	見川線	66	2	132	78	熱容量	32	0	可	54	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	66kV	87	岩間工団線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	66kV	88	水戸線	66	2	72	40	熱容量	5	0	可	31	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	66kV	89	友部線	66	2	132	74	熱容量	7	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約
茨城県	66kV	90	送電線	66	2	-	-	41	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城154kV1)による制約	
茨城県	66kV	91	送電線	66	2	-	-	66	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	◇ 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約	
茨城県	66kV	92	美野里線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	93	柏原工団線	66	2	132	74	熱容量	66	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	94	送電線	66	2	184	92	熱容量	92	0	可	92	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	95	鉾田線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	96	高浜線	66	2	86	48	熱容量	43	0	可	38	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%× 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
							当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
茨城県	66kV	97	貝地線	66	2	102	57	熱容量	35	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	98	送電線	66	2	102	57	熱容量	47	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV95)による制約
茨城県	66kV	99	上山線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV95)による制約
茨城県	66kV	100	北浦線	66	2	132	88	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(送茨城66kV95)による制約
茨城県	66kV	101	送電線	66	2	-	-	-	51	0	-	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	102	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	103	出島線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	23	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV108)による制約
茨城県	66kV	104	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV103)による制約
茨城県	66kV	105	送電線	66	2	-	-	-	47	0	-	-	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV103)による制約
茨城県	66kV	106	木田余線	66	2	132	74	熱容量	49	0	可	58	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	107	千代田工団線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	108	神立線	66	2	184	124	熱容量	0	0	可	0	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県	66kV	109	中神立線	66	2	86	48	熱容量	43	0	可	38	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV108)による制約
茨城県	66kV	110	土浦線	66	2	294	167	熱容量	147	0	可	127	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	66kV	111	立の越線	66	2	184	104	熱容量	92	0	可	80	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	66kV	112	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	66kV	113	福田線	66	2	132	88	熱容量	17	0	可	44	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	66kV	114	阿見線	66	2	132	88	熱容量	28	0	可	44	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	※4 上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	66kV	115	霞ヶ浦線	66	2	184	104	熱容量	91	0	可	80	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県	66kV	116	学園中線	66	2	102	67	熱容量	51	0	可	6	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県	66kV	117	大穂線	66	2	184	124	熱容量	0	0	可	39	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県	66kV	118	筑波線	66	2	294	167	熱容量	0	0	可	58	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県	66kV	119	送電線	66	2	68	41	熱容量	34	0	可	27	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV117)による制約
茨城県	66kV	120	大砂線	66	2	120	72	熱容量	0	0	可	48	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む上位系(送茨城66kV117)による制約

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備	
茨城県 66kV 121	送電線	66	1	-	-	-	19	0	-	-	有り	-	送52, 変4	◇ 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV120)による制約
茨城県 66kV 122	明野線	66	2	132	74	熱容量	13	0	可	58	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV118)による制約
茨城県 66kV 123	真壁線	66	2	132	74	熱容量	5	0	可	58	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV118)による制約
茨城県 66kV 124	筑館線(筑館系)	66	2	132	88	熱容量	0	0	可	44	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県 66kV 125	筑館線(筑波系)	66	2	132	88	熱容量	0	0	可	35	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送茨城66kV118)による制約
茨城県 66kV 126	岩瀬線	66	2	132	74	熱容量	13	0	可	26	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 127	下館線	66	2	132	74	熱容量	42	0	可	13	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 128	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 129	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 130	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 131	三和線(小山系)	66	2	444	254	熱容量	209	0	可	190	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 132	山西線	66	2	106	69	熱容量	53	0	可	37	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 133	南結城線	66	2	102	67	熱容量	31	0	可	35	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 134	結城工団線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 135	西山工団八千代線	66	2	38	30	熱容量	19	0	可	8	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 136	三和線(総和系)	66	2	444	254	熱容量	222	0	可	190	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県 66kV 137	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県 66kV 138	丘里線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県 66kV 139	総和線	66	2	132	74	熱容量	19	0	可	58	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県 66kV 140	向古河線	66	2	30	22	熱容量	15	0	可	8	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県 66kV 141	南古河線	66	2	132	74	熱容量	56	0	可	58	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県 66kV 142	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(変4)による制約
茨城県 66kV 143	北利根線	66	2	106	69	熱容量	33	0	可	0	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県 66kV 144	猿島線	66	2	146	82	熱容量	31	0	可	64	有り	-	送52, 変4	※4 抑制が必要となる設備には変2、送11含む 上位系(送栃木154kV12)による制約

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考
							当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備	
茨城県 66kV 145	谷和原線3, 4号	66	2	444	254	熱容量	189	0	可	190	有り	-	送52, 送50, 送45	※4 上位系(送45)による制約
茨城県 66kV 146	高萩西線	66	2	66	66	熱容量	10	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	※4 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城66kV1)による制約

茨城県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考			
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備				
茨城県	66kV	1	常磐	275	66	2	569	342	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	変2, 送11	※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(送11)による制約	
茨城県	66kV	2	常総	275	66	5	1227	1131	熱容量	743	0	可	96	有り	-	送52, 送50, 送45	※4※6 上位系(送45)による制約	
茨城県	66kV	3	筑波南	275	66	2	566	342	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送52, 送50, 送45	※6 上位系(送45)による制約	
茨城県	66kV	4	鹿島5,7,8B	275	66	3	649	453	熱容量	0	0	可	66	有り	-	送46, 送39	※2※6 上位系(送39)による制約	
茨城県	66kV	5	水戸北部	154	66	2	186	186	熱容量	137	0	不可	#2	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV7)による制約
茨城県	66kV	6	茨城	154	66	4	560	429	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※3※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV5)による制約	
茨城県	66kV	7	西水戸	154	66	3	563	450	熱容量	91	0	可	113	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※2※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV1)による制約	
茨城県	66kV	8	石岡	154	66	4	509	394	熱容量	0	0	可	0	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	※3※6 抑制が必要となる設備には変4含む 上位系(変茨城154kV7)による制約	
茨城県	66kV	9	霞ヶ浦	154	66	4	557	444	熱容量	0	0	可	0	有り	-	送52, 変4	※3※6 抑制が必要となる設備には変2, 送11含む 上位系(変茨城154kV8)による制約	
茨城県	66kV	10	鹿島6B	275	66	1	285	285	熱容量	43	0	不可	#2	-	有り	-	送46, 送39	※1 抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送39)による制約









茨城県

運用容量一覧表～ 22kV の特高設備 ～

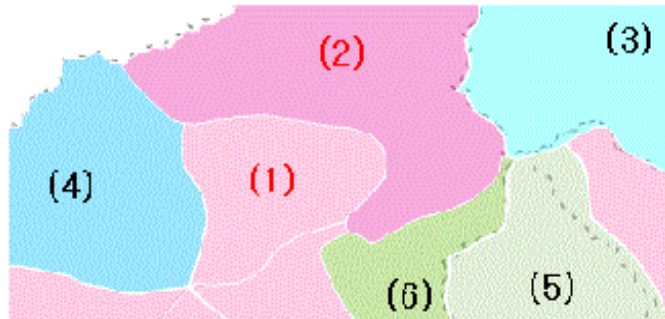
変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
茨城県	22kV	1	五霞	154	22	1	19	19	熱容量	19	0	不可 #2	-	有り	-	送52	※1 上位系(送52)による制約
茨城県	22kV	2	筑波西部	154	22	2	57	28	熱容量	28	0	不可 #2	-	有り	-	送47	※1 抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約

配電用変電所エリア空容量マッピングの記載方法について

○既にお申込み頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で配電用変電所の空容量、上位特別高圧系統の平常時出力制御の可能性を示しております。
 ※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

凡例	内容	連系までの見通し
	現在配電用変電所の空き容量が不足し、配電用変電所及びバンクの増強等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア。 または、上位特別高圧系統で連系に必要な対策が必要となる可能性が高いエリア。	上位系及び配電用変電所の増強等が必要となる場合、早期連系は困難。※
	現在配電用変電所の空き容量が不足し、配電用変電所及びバンクの増強、逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア。 または、上位特別高圧系統で連系に必要な対策が必要となる可能性が高いエリア。	上位系及び配電用変電所の増強、逆潮流対策等が必要となる場合、早期連系は困難。※
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が高いエリア (現在配電用変電所は空きあり)。	上位系の対策なしで連系可能な見込み。
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が高く、配電用変電所及びバンクの逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア(現在配電用変電所は空きあり)。	逆潮流等の対策後連系可能。
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が低いエリア (現在配電用変電所は空きあり)。	上位系の対策なしで連系可能な見込み。
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性は低いが、配電用変電所及びバンクの逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア(現在配電用変電所は空きあり)。	逆潮流等の対策後連系可能。

※平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)



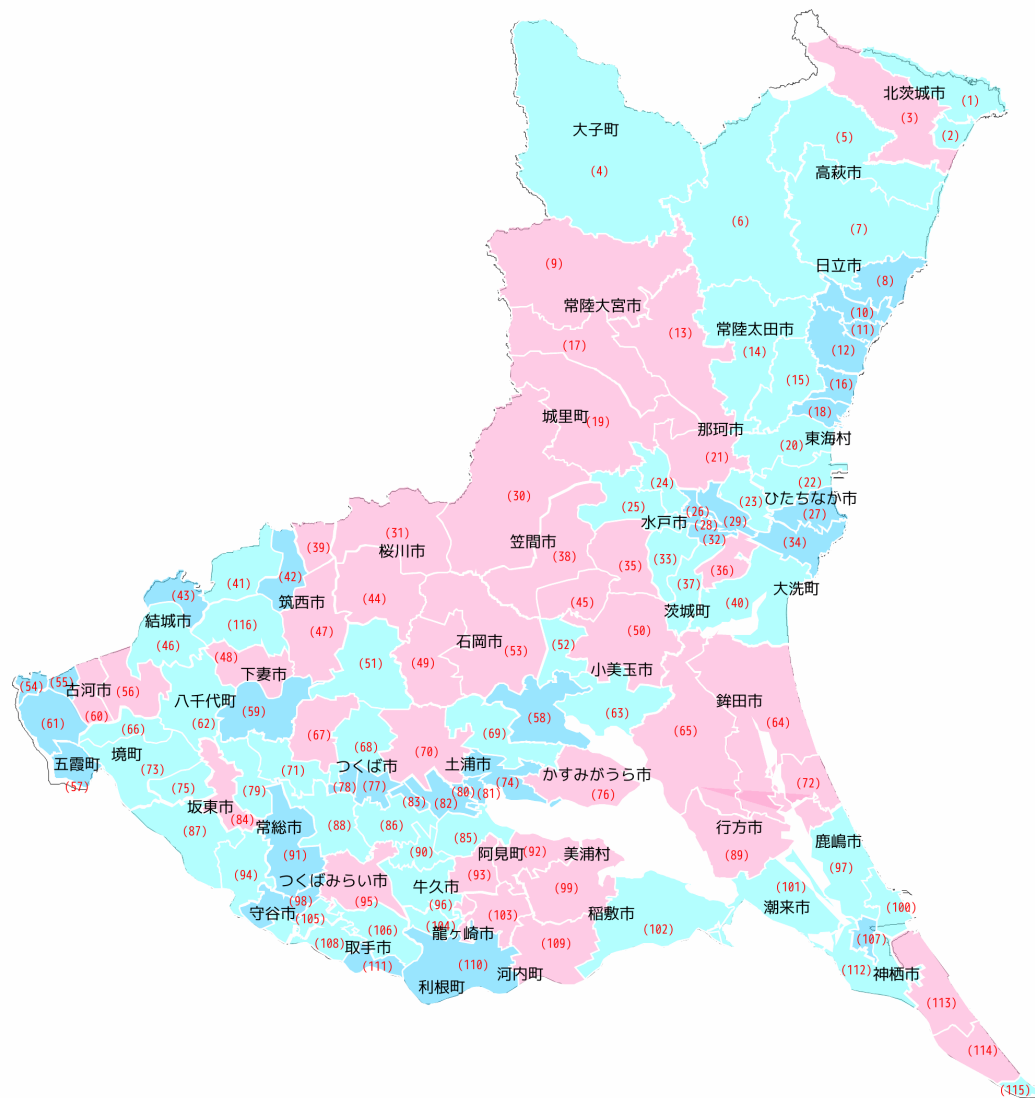
(1), (2), (3), (4), (5), (6) : 配電用変電所のエリア番号

○本資料は高圧(2,000kW未満)にて連系予定の発電設備を対象としております。
 上記に関わらず50kW未満の太陽光発電設備等は「空容量マッピング」対象外です。

資料作成日 2025年5月12日
 転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社

配電用変電所エリア運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) 配電用変電所のため、N-1電制は適用不可となります。
- (4) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (5) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (6) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (7) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (8) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。



茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
茨城県	1	五浦	66	6.6以下	3	38	39	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	2	磯原	66	6.6以下	3	28	29	熱容量	3	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	3	木皿	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	4	大子	66	6.6以下	3	38	39	熱容量	4	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(送茨城66kV23)による 制約
茨城県	5	手綱	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	6	里美	66	6.6以下	1	9	9	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(送茨城66kV23)による 制約
茨城県	7	高萩	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	2	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(送茨城66kV7)による 制約
茨城県	8	小木津	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	15	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	9	山方	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV65)による 制約
茨城県	10	日立	66	6.6以下	3	38	39	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	11	助川	66	6.6以下	3	38	39	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	12	北多賀	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	13	常陸大宮	66	6.6以下	3	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV25)による 制約
茨城県	14	常陸太田	66	6.6以下	3	33	34	熱容量	3	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV25)による 制約
茨城県	15	真弓	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	16	多賀	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	17	水戸北部	154	6.6以下	3	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城154kV7)による 制約
茨城県	18	大みか	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城66kV1	上位系(変茨城66kV1)による 制約
茨城県	19	桂	154	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城154kV8)による 制約
茨城県	20	笠松	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	21	飯田	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	22	長砂	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	23	勝田	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	12	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	24	堀町	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	25	赤塚	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
茨城県	26	根本	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	27	常陸海浜	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	28	大町	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	29	水戸	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	30	笠間	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	31	岩瀬	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による 制約
茨城県	32	白梅	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	33	見川	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	34	湊	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	35	内原	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	36	酒門東	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV74)による 制約
茨城県	37	千波	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	38	友部	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	39	協和	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による 制約
茨城県	40	大洗	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV6)による 制約
茨城県	41	川島	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	1	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による 制約
茨城県	42	下館	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	12	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV118)による 制約
茨城県	43	結城	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による 制約
茨城県	44	真壁	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV118)による 制約
茨城県	45	岩間	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV1)による 制約
茨城県	46	南結城	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	2	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による 制約
茨城県	47	明野	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV118)による 制約
茨城県	48	関城	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV125)による 制約
茨城県	49	八郷	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV8)による 制約
茨城県	50	美野里	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV92)による 制約

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
茨城県	51	筑波	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	8	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV118)による制約
茨城県	52	竹原	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	3	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV92)による制約
茨城県	53	石岡	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城154kV7)による制約
茨城県	54	古河	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	17	0	不可	-	有り	-	-	
茨城県	55	牛谷	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(変4)による制約
茨城県	56	諸川	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県	57	五霞	154	6.6以下	2	38	39	熱容量	17	0	不可	-	有り	-	送52	上位系(送52)による制約
茨城県	58	貝地	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	10	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	59	下妻	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	2	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV125)による制約
茨城県	60	総和	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(変4)による制約
茨城県	61	南古河	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	13	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(変4)による制約
茨城県	62	八千代	154	6.6以下	3	57	59	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(変4)による制約
茨城県	63	玉里	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	3	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV95)による制約
茨城県	64	鉾田	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV95)による制約
茨城県	65	上山	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV99)による制約
茨城県	66	三和	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県	67	大砂	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV120)による制約
茨城県	68	大穂	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	1	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV117)による制約
茨城県	69	神立	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	2	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV108)による制約
茨城県	70	西土浦	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV108)による制約
茨城県	71	豊里	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	72	大洋	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV100)による制約
茨城県	73	猿島	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	4	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送栃木154kV12)による制約
茨城県	74	木田余	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	75	沓掛	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
茨城県	76	出島	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(変茨城66kV8)による制約
茨城県	77	学園都市	154	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
茨城県	78	東光台	154	6.6以下	2	38	39	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
茨城県	79	大生郷	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	80	中土浦	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	81	土浦	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	82	高津	66	6.6以下	2	33	34	熱容量	13	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県	83	つくば並木	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(変茨城66kV9)による制約
茨城県	84	飯沼川	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	85	阿見	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	86	小野川	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	11	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	87	岩井	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	88	福岡	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	1	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	89	麻生	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	変2, 送11, 変茨城154kV1	上位系(送茨城66kV100)による制約
茨城県	90	牛久北部	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	91	水海道	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	11	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	92	君島	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	93	福田	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	94	菅生	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	95	伊奈町	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	96	牛久	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	上位系(変茨城66kV3)による制約
茨城県	97	船津	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	1	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(変茨城66kV4)による制約
茨城県	98	守谷	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	99	江戸崎	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66kV3	上位系(送茨城66kV46)による制約
茨城県	100	平井	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	10	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(変茨城66kV4)による制約

茨城県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備	
茨城県	101 潮来	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(変茨城66kV4)による 制約
茨城県	102 幸田	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3	上位系(送茨城66kV46)による 制約
茨城県	103 薄倉	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3	上位系(変茨城66kV3)による 制約
茨城県	104 北竜台	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3	上位系(変茨城66kV3)による 制約
茨城県	105 南守谷	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	13	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	106 藤代	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	107 神栖	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	11	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(変茨城66kV4)による 制約
茨城県	108 取手	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	109 角崎	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3	上位系(送茨城66kV46)による 制約
茨城県	110 竜ヶ崎	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45, 変茨城66 kV3	上位系(変茨城66kV3)による 制約
茨城県	111 東取手	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
茨城県	112 神之池	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(送茨城66kV57)による 制約
茨城県	113 波崎	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(送茨城66kV57)による 制約
茨城県	114 南波崎	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(変茨城66kV4)による 制約
茨城県	115 銚子	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(変茨城66kV4)による 制約
茨城県	116 木戸	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	12	0	不可	-	有り	-	送52, 変4	上位系(送茨城66kV118)による 制約